

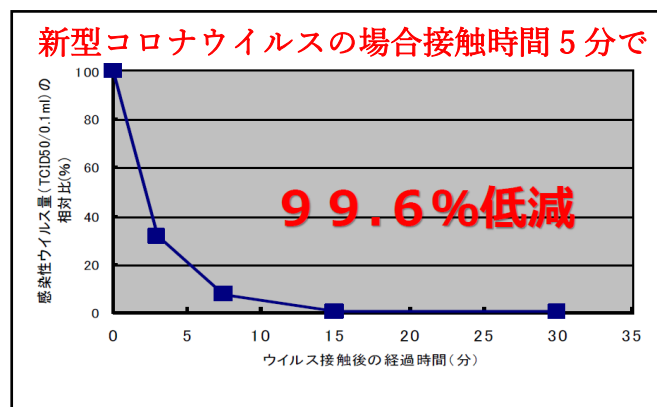
強アルカリ性しっくい塗装で出来る 新型コロナウイルス対策

古くから、建築物に使われている漆喰の主原料である「消石灰」の持つ強アルカリ性により強い殺菌効果を発揮し、すべてのタイプのウイルスを短時間で、不活性化し感染力を失わせる建築材料です。



抗ウイルス機能塗料「アレスシッコイ」 : 関西ペイント(株)製造

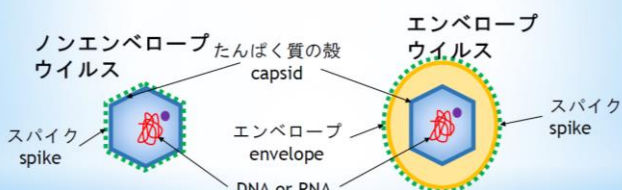
- ・消石灰は牛口蹄疫や鳥インフルエンザでも殺菌消毒の用途で使用されています。
- ・消石灰系仕上塗料「アレスシッコイ」は消石灰を主原料で10年以上前に開発された塗料でその抗ウイルス機能により吸着したすべてのタイプのウイルスを短時間で、無害化する塗料です。
- ・幼稚園、学校、ケアハウス、ホール、個人住宅など、すでに国内外で使用されています。
- ・新設コンクリート・モルタル・ボード・鉄面に使用可能で壁紙・ビニールクロスへの塗替も可能です。
- ・アレスシッコイの抗ウイルス機能ほかの性能持続年数は、約10年持続します。



長崎大学熱帯医学研究所指導のもと行ったウイルス不活性化試験で『新型コロナウイルスへ』の効果は、実証実験済みです。

ウイルスの増殖抑制機能のしくみ

- ①ウイルスはたんぱく質と核酸で構成される。
(ウイルスは生物の細胞に吸着し複製繁殖する)



- ②アレスシッコイの消石灰(アルカリ)がウイルスのタンパク質を変性させ、細胞膜に吸着する機能を失い機能しなくなる

試験結果 エンベロープウイルス

○: 抗ウイルス効果あり (CTL比較でウイルスの感染価を99%以上減少)
×: 効果なし
コントロール(CTL)は塗料なし

塗料種	膜厚 μm	エンベロープウイルス		
		インフルエンザウイルス(IFV)	水痘性口内炎ウイルス(VSV)	ウシ丘疹性口炎ウイルス(BPSV)
アレスシッコイ	50	○	○	○
アレスシッコイモンティアート	50	○	○	○
一般水性艶消し塗料	50	×	×	×
一般抗菌防カビ塗料	50	×	×	×
多孔質塗料(珪藻土)	50	×	×	×

アレスシッコイ、アレスシッコイモンティアートは、**すべてのウイルス**に対し抗ウイルス効果あり

【抗ウイルス以外の機能】

- ・悪臭の消臭分解
- ・シックハウスの原因物質の除去機能
- ・防カビ機能
- ・調湿機能

お部屋の壁のウイルスが気になる方に
漆喰塗料の抗ウイルス機能で対策!

漆喰
塗料

内装用 消石灰系仕上材

ALESSHIKKUI

アレスシッコイ

自然素材のしっくい(消石灰)で作った抗菌・抗ウイルス塗料

ウイルス
接触感染対策に

クロスの上からも
簡単にペイント
できます

ウイルス
99.9%減少

触って!
感染!
その前に

消石灰の機能で

抗菌
抗ウイルス

KANSAI
PAINT

MADE IN JAPAN



しっくい丸®

詳しくはこちらを
チェック!



施工店：(株)祖泉塗工店
TEL：076-231-4094
soizumi@po4.nsk.ne.jp

住宅リフォーム
事業者団体
国土交通大臣登録

一般社団法人日本塗装工業会

プレスリリース

漆喰塗料の新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に対する不活化を実証

<わずか接触 5 分で 99.9%以上を不活化>

2020 年 10 月 05 日
関西ペイント株式会社

関西ペイント株式会社(本社：大阪府、代表取締役社長：毛利 訓士)は、ウイルス研究分野における第一人者である長崎大学 感染症共同研究拠点 安田二郎教授と当社が特許を持つ漆喰塗料の新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に対する不活化実証試験を共同で実施し、接触 5 分で 99.9%以上の不活化効果を確認いたしました。

*本実証は、実験室での評価であり、商品や実使用環境での効果を示すものではありません。

日本古来の自然素材の建築材料である「漆喰」は、その主成分である消石灰(水酸化カルシウム)が有す強アルカリ性により、抗菌・抗ウイルス・消臭や調湿など優れた機能があります。

当社は、2007 年に消石灰塗料化技術を活用し、「漆喰塗料」という新たなカテゴリーを創出し、2016 年には、不織布や紙などに塗布可能な高柔軟性漆喰塗料も開発しました。同年には安田二郎教授のご指導のもと、ウイルスの不活化実証実験を共同で行い、代表的なノンエンベロープウイルス(1種類)、エンベロープウイルス(3種類)の全てに対して効果があることを実証しています。

当社グループは、今回発表しました漆喰塗料の実証効果もふまえ、既存の建築塗料分野に加え、様々な抗ウイルス商材で防災関連分野のほか、人々の安全・安心に寄与するあらゆる分野などにも展開領域を拡げ、より一層の社会貢献を目指してまいります。

<長崎大学 感染症共同研究拠点 安田二郎教授のコメント>

「前回(2016 年)の実証試験の結果から、新型コロナウイルスでも良好な抗ウイルス効果が確認できるものと考えていました。更に今回は 5 分という短時間でかつ 99.9%以上の高い不活化効果が確認できたことは漆喰塗料の潜在能力の高さを感じました。様々なものに塗布できるため、幅広い用途展開すなわち汎用性が高く、特に医療や老健施設などにおける衛生環境の向上に期待がもてると思います」